

会議録（要点筆記）

会 議 名	令和８年度 第１回米原市社会教育委員会議
開 催 日 時	令和８年７月１７日（金）午後２時００分～午後４時３０分
開 催 場 所	守山市立立入が丘小学校
出席者および 欠席者	出席者：大谷委員、福永委員、川崎委員、岩崎委員、南家委員、庄委員、 和氣委員 事務局：生涯学習課 平山課長、富永補佐、佐橋主事 欠席者：河居委員、澤村委員、清水委員、馬淵委員、村瀬委員
協 議 事 項 等	・社会教育委員として視察先の取組を調査し、研究テーマである「米原市の 子どもの未来」検討材料とする
結 論 (決定した方針等)	・第２回社会教育委員会で視察の振り返りと米原市の現状分析を行う。
協議経過・概要	【視察内容】 〈ほうかごたいけん教室の見学〉参加者 51 名 ・ほうかごたいけん教室では、「サイエンス」、「アート」、「おんがく」の ３つの教室に分かれて体験されていた。 ①「サイエンス」ではホタルの光の仕組みや、ホタルの活動に影響を与え ないランタン作成を行った。 ②「アート」ではお湯と石鹼を羊毛に吹きかけてコースターを作成した。 ③「おんがく」では、箏の演奏体験をし、それぞれの教室での活動が終わ った後、参加児童と保護者数名の前で演奏を披露した。 【概要説明】 梅村亮介氏と綿谷駒太郎氏の二人が一般社団法人 yourship を立ち上げて 「ほうかごたいけん教室」を始める。立入が丘小学校は、梅村氏の子どもが 通う学校であり、年４回教室を開いている。目標としては、県内の社会教育 士が、各地域で育ち、今やっているような仕組みが各地で展開できればと思 っている。 【質疑応答】梅村氏の回答 ①事業を始めたきっかけや、初期の取り組みについて教えてください。 ・2023 年 9 月、社会教育士を取得 ・2023 年 10 月、地域のため、子どものためにできることはないかと、学 校から来るアンケートに回答したところ、すぐに学校から連絡があっ た。校長、教頭、教育委員会、公民館、梅村氏で話し合いが始まる。 ・学校と調整の元、2024 年 yourship を立ち上げることになったことがき っかけである。

	②関係各所（学校・教育委員会・講師等）との交渉や調整には、どの程度の期間を要しましたか。 ・2023 年 10 月に学校と調整をして 2025 年 3 月には始めているので1年半程で実現した。 ③事業予算の財源についてお聞かせください。また、経費を抑えるための工夫などがありますか。 ・財源は守山市からの 15 万円の補助金 ・チラシのデザインは身内でやっているので印刷費のみで完成 ・今後は協賛を得るために民間企業に事業の説明をしにまわって、協賛金で事業の運営を予定。 ④事業の評価（効果測定）は、どのような手法で行っていますか。 ・手作りパスポートで感想などを聞いている。 ・今は評価よりも今できることを行っており、フローチャートに沿って事業を運営している。現段階で評価をするのであれば、定員まで人が集まっているので、順調であると思う。 ⑤受け入れ先の個人や団体は、どのような媒体・方法で募集されていますか。 ・梅村氏・綿谷氏の知り合い（人の繋がり）で運営している。公募はしていない。 ⑥学校側の関わり方について教えてください。 （広報や集客面での協力体制など） ・先生方に負担をかけないようにしている。連絡も必要事項のみ伝えている。チラシを子どもたちに配布してもらう程度の負担 ⑦講師の選定基準や、手配・調整の実務はどのようにされていますか。 ・選定基準は人柄や、教室の趣旨を理解している人を選んでいる。 ・ほうかごたいけん教室の参加児童の保護者も先生になることがある。 ・講師の謝礼については少額。 ⑧これまでで最大の困難は何でしたか。また、それをどう克服されたかお聞かせください。 ・yourship の言葉は、リーダーシップとユア（あなたらしさ）の造語である。最大の困難と言えば、仕事をしているので時間の使い方。 ⑨活動運営において、特に留意している点やリスク管理などがありますか。 ・責任の所在が問われる場合もあるので、イベント保険には加入している。 ⑩具体的な成功事例を教えてください。 ・不登校やサポートルームに通っている児童も参加している。 ・ほうかごたいけん教室と同様のイベントを運営できる人材の育成を、滋賀県の生涯学習課から委託されている。 ・ほうかごたいけん教室のメニューが3つもちょうど良いと思う。
--	--

